

## 開会挨拶

神奈川大学  
学長 山火 正則

皆様、おはようございます。本日、このように皆様のご参加を得て、「第2回 COE 国際シンポジウム」を開催できますことは、神奈川大学として大変光栄なことでございます。このシンポジウムに参加される全ての皆様に、神奈川大学として、心から歓迎申し上げます。

本学は、知を伝える「教育の重視」とともに、大学教育の前提として、伝えるべき知の創造がなければならない、また、大学教育には、知だけではなく、知を創造する方法を伝えることも含まれる、そのような認識のもとに「教育と研究の融合」を理念としております。

このシンポジウムを主催する「人類文化研究のための非文字資料の体系化」プロジェクトは、まさにこの本学の理念をそのまま実践するものであり、本学の教育・研究体制のモデルとなっているものでございます。

したがって、このプロジェクトが昨年に引き続き、ここに、第2回国際シンポジウムを開催し、その成果の一端を披露することは、全学的に大きな慶びとして受け止められています。そして、このシンポジウムが、これまでの研究成果のうえにさらに新たなものを付け加え、このプロジェクトが「非文字資料の体系化」という未開の学問分野を切り拓いて創造的な成果へと至る、その新たなスタートとなることを全学が期待しています。

今日・明日と、二日間にわたる皆様のご熱心な討論がこのシンポジウムに成功をもたらし、「非文字資料の体系化」という特殊な研究が、普遍的な「人類文化の研究」を進展させ、ひいては「人類文化の発展」―「人類の福祉の実現」へと展望を開くことになることを心から祈念して、開会のご挨拶とさせていただきます。